

## 「令和4年度 鹿児島県図書館大会」を開催しました！

県立図書館

### 令和4年度鹿児島県図書館大会 ～新しい時代に求められる図書館とは～

本大会は、県下の読書活動や図書館の利活用を推進するために、図書館に関わる県民が一堂に会し、連携を深め、図書館が発揮すべき力について共に考えることを趣旨としています。

#### 期日・場所

令和4年11月9日（水）  
午前9時50分～午後3時45分  
かごしま県民交流センター

#### 参加者数

550人

#### 主な内容

- 1 表彰
- 2 基調提案
- 3 分科会

##### 小学校部会 A

学校図書館経営  
～中規模校の現状と課題～

##### 小学校部会 B

人と人、人と本をつなぐ図書館を目指して  
～大規模校の工夫と実践～

##### 中学校部会

地域とつながる学校図書館 ～公共図書館  
・学校・家庭との連携をとおして～

##### 高等学校部会

学校図書館からの情報発信

##### 公共図書館部会 A

地域と共にあゆむ公共図書館

##### 公共図書館部会 B

「知りたい」を育む児童サービス

##### 公共図書館部会 C

まちづくりと公共図書館

##### 幼稚園・保育園部会

心を育む読書活動を推進する幼稚園

##### 読書グループ部会

地域に広がる読書の輪

～文庫結成とその活動～



【表彰の様子】

#### 4 講演

演題 「図書館における電子書籍の現状と将来像 — 調査に基づくwith/after  
コロナの課題 — 」

講師 専修大学文学部教授 植村 八潮 氏

図書館と出版を取り巻く環境の変化、電子書籍の将来像について分かりやすく御教授くださいました。



講話の中で「電子書籍を揃えることが最終目的ではない」、「電子書籍をアナログの延長で捉えてはいけない」といった、図書館の役割や電子書籍の捉え方に関するお話がありました。

図書館に関わる方々にとって、電子書籍に対する認識が変容するとともに紙と電子データをどのように両立させていくかなど、新しい図書館の役割について考える機会になりました。

#### 参加者の感想の一部

- 公共図書館、学校図書館と分けるのではなく、利用する子供たちのための場所になることが大切だと感じました。
- 本の温もりを届け、それを続けていくことの大切さを教えてもらいました。
- 図書館運営をするために明確なビジョンをもって、それに向かって運営していくことが大事だと思いました。

本大会は、平成17年度から学校図書館協議会と県図書館協会が共催しています。昨年度、初めて大会を中止し、今年度は、2年ぶりの開催となりました。まだまだ工夫の余地はありますが、「貴重な学びの場」として開催を喜んでくださる方が多くいらっしゃいました。感染症対策等への御理解と御協力もいただき、無事に大会を終えることができました。